

第2回 定例会

第2回定例会は、平成29年6月5日～6月26日の22日間行われました。詳細については、平成29年9月ごろに本会議録が製本されますので、市ホームページ、市情報公開コーナー、図書館等をご覧ください。市ホームページで録画中継もご覧いただけます。

総務文教委員会

主な審査内容

● 職員の育児休業等に関する条例の一部改正について

【解説】 国家公務員の育児休業について定めたる人事院規則の改正に伴い、保育所等の定員が超過し、待機児童として保育所等に入所できない場合にも、育児休業が取得できるようにするための条例改正。

Q 夫婦の場合、男性と女性が交代で1年半ずつ育児休業を取得することも可能なか問う。

A 育児休業期間は無給である。どちらがとつてもよいことになっているため、交代で取得することは可能である。

● 平成29年度大竹市一般会計補正予算（第1号）

【解説】 歳入歳出にそれぞれ4千493万8千円を追加するもの。

○主な内容

【歳入】

・ 寄付金 105万1千円
・ スポーツ振興くじ助成金 598万7千円

・ 大河原ため池改修事業債 1千860万円

【歳出】

・ シルバー人材センター運営補助金 700万円

・ 農道水路補修工事費 1千700万円

・ 公園等環境保全推進事業補助金 317万5千円

・ 環境保全推進事業補助金 390万円

・ 校庭芝生維持管理等補助金 153万円

・ 社会教育施設等環境保全推進事業補助金 266万9千円

・ 公園維持管理業務委託料（3公園分） 1千194万7千円

Q 他市に比べてシルバー人材センターへの補助金が多い理由について問う。

A 高齢者活用現役世代雇用サポート事業の補助金における国の限度額の考え方は、派遣事業における就業述べ人員にかかっている。大竹市の

就業述べ人員は広島市をも上回っており、県内トップである。このことが他市町より補助金額が大きな理由である。

Q 大竹シルバー人材センターへの運営費補助をやめる理由について問う。

A 大竹市シルバー人材センターが、誤解を与えかねない状況のまま、運営費補助を受けながら自主事業を継続することは困難と判断されたため、運営費補助金は減額して民生費に一括計上し、市として行わなければならぬ事業については改めて委託料として計上するよう、一般会計補正予算を提案した。

生活環境委員会

主な審査内容

● 大竹市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について

【解説】 これまで支給認定証は、もれなく保護者に公布していたが、

子ども・子育て支援法施行規則の改正に伴い、保護者の申請があった場合にのみ公布することになったための条例改正。

● 大竹市地域包括支援センターの設置者が遵守すべき基準を定める条例の一部改正について

【解説】 介護保険法施行規則の改正に伴い、主任介護支援専門員の資格期限を更新するものは、更新研修を修了していることが必要であるとの規定を加えたための条例改正。

総務文教委員会主な審査 生活環境委員会主な審査

※採決の結果、すべての議案が原案のとおり可決



本会議での採決の結果
原案のとおり可決